

令和5年度 第1回新発田市まちづくり総合計画審議会（会議録）

- 1 開催日時 令和5年8月24日（木）
開会：午後2時00分 閉会：午後4時15分
- 2 開催場所 新発田市役所別館 2階会議室
- 3 出席者
植田 穰 委員（会長）、岸本 正智 委員（副会長）、荒井 一夫 委員、小池 実千代 委員、
樺沢 浩 委員、西村 純子 委員、若桑 昭男 委員、田中 利光 委員、笹川 康夫 委員、
早川 英雄 委員、萩野 喜弘 委員
- 4 会議に出席した事務局職員等
伊藤副市長
みらい創造課（課長、課長補佐、企画政策係長、ほか4名）
- 5 議題及び会議の公開又は非公開の別
公開
- 6 傍聴人の数
3人
- 7 配布資料の名称
 - ・ 次第
 - ・ 別紙1「審議会の進め方及び今後のスケジュール等について」
 - ・ 別紙2「新発田市まちづくり総合計画（令和6年度～令和13年度）基本構想（案）」
 - ・ 新発田市まちづくり総合計画審議会委員名簿
 - ・ 参考1「新発田市まちづくり総合計画（令和6年度～令和13年度）施策体系」
 - ・ 参考2「新発田市デジタル田園都市構想総合戦略（令和6年度～令和9年度）施策体系」
 - ・ 参考3「新発田市まちづくり総合計画 基本計画 基本目標 I 生活・環境施策（案）」
 - ・ 参考4「まちづくり実行プラン Ver. 4」
- 8 審議の内容
 - (1) 開会
○事務局
ただいまより、第1回新発田市まちづくり総合計画審議会を開会いたします。なお、この会議は公開となりますのでよろしくお願いします。
進行につきましては、次第に沿って進めさせていただきます。

開会に先立ちまして、新発田市まちづくり総合計画策定委員会委員長伊藤副市長より挨拶を申し上げます。よろしくお願いします。

(2) 挨拶

○伊藤副市長

副市長の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、新発田市まちづくり総合計画審議会にお集まりいただき、ありがとうございます。開会に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げます。

平成26年に、国立社会保障・人口問題研究所が公表した「消滅可能性都市」の報道以降、人口減少や少子高齢化が浮き彫りとなり、どの自治体でも、その対策や地方創生に向けた様々な取組を進めております。当市においても、総合計画を最上位計画としながら、人口ビジョンや総合戦略を策定し、現状に沿った取組を進めてきたところであり、人口減少のスピードを社会保障・人口問題研究所の予測よりも抑制してまいりましたが、昨今のコロナ禍による新たな社会情勢の変化なども生じており、抜本的に状況を打開するには至っていないのが現状であります。

これから、皆様にご審議いただく総合計画は、「まちづくりの設計図」であります。目指すところはこれまでと変わりなく、「市民の皆様が、新発田は住みやすいと実感できるまち」、また、「市外の方から選んでいただけるまち」です。

引き続き、「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」を将来都市像に、5つの基本目標と、4つの視点を掲げ、まちづくりを進めてまいります。

委員の皆様におかれましては、複数回の参集で大変なご負担をおかけしますが、新発田をよく知る皆様だからこそ、市民の代表として、忌憚のないご意見を頂戴できるものと期待しております。何卒、活発にご審議をいただくようお願いしまして、あいさつに代えさせていただきます。

(3) 会長及び副市長の選出

○事務局

ありがとうございました。続きまして、会長、副会長の選出についてです。

○事務局

本審議会は、今ほどの副市長からの挨拶にもありましたが、当市が将来都市像の実現に向けて今後8年間で進むべき方向性をご議論いただく会でございます。委員の皆様の知見から、忌憚のないご意見を頂戴出来たら幸いです。

それでは、会長・副会長の選任でございますが、新発田市まちづくり総合計画審議会条例第5条第2項に、「会長及び副会長は、委員の互選により定める。」と規定されております。委員の皆様方の中から立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。

立候補者がいらっしゃらないようですので、事務局案でございますが、今回、総合計画と総合戦略の一体的な改定を行う予定としていることから、昨年度、総合戦略に基づく事業の検証を行った際の体制を継続し、引き続き、会長には、植田穰委員、副会長には、岸本正智委員に、お願いしたいと考えております。委員の皆様、いかがでしょうか。

(異議なし)

○事務局

ありがとうございます。

○事務局

異議がないようですので、引き続き、会長には、2号委員の植田穰委員、副会長には、3号委員の岸本正智委員をお願いします。

それでは、植田会長から一言ご挨拶をお願いします。

○植田会長

会長に選任されました植田でございます。前任者からの引継ぎということで、議事進行等の役割を仰せつかりました。どうぞよろしくお願いいたします。

新発田市まちづくり総合計画につきましては、皆様ご存じのとおり、令和2年度から9年度までの8年間の取組みとして策定されているところでございます。現在もその8年間の計画は生きています。8年間と言いますと、世の中の状況も変わって参ります。時代に合わせた修正が必要ということでしょうか。当初から、開始4年後の今年度に見直し検討を行うとされていたところでございます。本審議会では、その見直し検討につきまして、事務局案をもとに、その的確性を審議できればと思っております。

まだまだ厳しい残暑が続いているところでございます。3回にわたる会議と、長時間にわたる議事がございます。十分な審議を行いながらも、スムーズな進行に努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局

ありがとうございました。

続きまして、岸本副会長から一言ご挨拶をお願いします。

○岸本副会長

ただいま、副会長を仰せつかりました岸本です。どうぞよろしくお願いいたします。

ふるさと新発田を思う気持ちは市民皆同じでございます。今日集まりました委員の皆様の心をつなげて、新発田の良さを語り、新発田の課題、提言を語り合う、そんな審議会になることを期待して、簡単ですが挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局

ありがとうございました。

(4) 諮問

○事務局

続きまして、新発田市まちづくり総合計画審議会条例第2条の規定に基づく市長からの諮問について、本日は二階堂市長に代わり、新発田市まちづくり総合計画策定委員会委員長伊藤副市長から

諮問を行います。植田会長におかれましては正面の席へご移動をお願いします。

(諮問)

○事務局

審議委員の皆様、よろしくお願いします。

伊藤副市長ですが、所用により、ここで退席させていただきます。ご了承ください。

(伊藤副市長退席)

(5) 議事

○事務局

それでは、ここからの進行につきましては、植田会長をお願いします。

○会長

それでは、次第の「5 議事」に入ります。

はじめに、「審議会の進め方及び今後のスケジュール等について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局

～資料に基づき説明～

○会長

ありがとうございました。ただいま、審議会の進め方及びスケジュール等について事務局から説明がありました。この説明について、委員の皆様から質問がありましたら、お願いします。

○委員

基本的なことについて、少し質問させていただきたいと思います。基本計画について、これを審議する場合、基本構想との整合性が一番大事なので基本構想が決まっていない状態で基本計画を進めることに少し違和感があるというのが一つ。

それから、市長からの諮問というのは、審議会条例の2条で所掌事務が決まっていますが、これは審議会の立ち位置とか役割を示したものだと思います。市長からの基本構想を審議するという形になっていまして、基本計画等は総合計画条例7条にもあるとおり、市長でなく執行部が作るものです。なので、基本構想が審議会の役割で、基本計画は行政の方で担当していくという考え方を私は持っているのですが、その辺をお聞きしたいです。

○事務局

ありがとうございます。おっしゃるとおりでございます。今回の審議会でご審議いただくのはあくまでも基本構想の部分でございます。基本構想についてご審議いただくにあたって、別紙4の市長の公約を反映したものと、執行部のこれまでの現状・課題を洗い出した基本計画案を整理した上での

基本構想案となっております。本日お配りしている基本計画案につきましては、あくまでも基本構想を作るにあたっての基礎となる部分、庁内での現状・課題を洗い出したものということであり、基本構想案が審議会を経て固まった後に基本計画を策定していく、というのが手順になります。お付けした資料につきましてはあくまでも現時点での審議の参考資料ということであり、今後審議会や議会等の議論を経て、基本構想に合わせて基本計画は修正していくことを考えております。

○委員

先程も色々とお話がありましたが、社会情勢がすごく変わって、市民の考え方も変わっています。それで国のまちづくりに関する考え方も4年前と変わっているわけです。先程から「住みよいまち日本一」という話が出ていますが、この考えは少し古く、この考え方プラスアルファというのが国の考え方なわけです。

国がまちづくりで目指しているのは、結論を言うとウェルビーイングのまちを目指しているのです。ウェルビーイングのまちというのは、「住みよいまち」の価値観プラス、精神的・身体的に市民が良好な状態にあるようなまちを目指しているわけです。これはデジタル田園都市国家構想の大きな柱なのです。それにあたり将来都市像も少し変わってくるのではないかと。今は成熟社会で、これまでの将来都市像はどちらかというとバブル時代の将来都市像ではあるけれど、成熟社会の将来都市像というのはバブル社会の色々な価値観にプラス、市民の方に重点的に視点を置いたものがウェルビーイングなのです。要するにそれが今の国のまちづくりの一つの方向性になっています。なので、基本構想を色々な面から見直していくことが審議会の一環の役割で、それを答申するというのが一番大事なことでないかと思います。基本計画の審議等は、審議会で見ると後で素案を出してもらって整合性が取れているかというだけの問題だと思います。ですので、そのあたりは今までの色々な話の中で少し違和感があるところです。結論といて言いたいことは、今日一日かけて現行計画の基本構想3ページ～18ページを審議した方がよいのではないかと考えています。これが審議会の一環の役割で柱になることなので、委員が共有することが一番大事だと思います。

○会長

ありがとうございます。先程、市長から諮問をいただいた中で、「将来都市像を「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」とし」、という前提の諮問をいただいております。その点につきまして事務局はどの範囲でこの審議会に進めれば良いとお考えでしょうか。私が今諮問を受けた内容ですと、「将来都市像というのは固定であり、それに向かって基本目標を如何に考えるか」であり、資料の参考3の基本計画につきましては、この場で決めるのではなく、審議した後に市の方で修正を加えるという考え方はそのとおりだと思うのですが、いかがでしょうか。

○事務局

今ほどのお尋ねに対してですが、市長からの諮問にあるとおり、将来都市像については市長が選挙公約として掲げたものでございます。そちらをもとに、新発田市のまちづくりを継続性を持って進めていくというところがありまして、将来都市像については固定ということで、それに基づいて正しい方向性でのまちづくりが進んでいくのかご審議をいただいております。

○会長

ありがとうございます。

とは言え、やはりこれからの大きな構想でございますので、意見としてはこの場で色々とお聞きして、市の方に答申とは別になります但伝えていきたいと思いますがいかがでしょうか。

○委員

SDGsやDX等、色々この4年で変わったので、将来都市像も基本的には今のままでも良いですが、せっかく見直す時期なのでそのような国のまちづくりに合ったやり方、社会に合ったやり方に変えていくべきだと思います。「住みよいまち日本一」というのが10年近く前に生まれた表現なので、この激しい時代には古いのではないかと。せっかくこのような機会があるので、できたら私は基本構想の中でそういうものを入れてもらえたら良いと思います。

○事務局

基本構想の中には、将来都市像と5つの基本目標、4つの視点ということで、それを含めて現行計画の3ページ～18ページになります。将来都市像については、事務局の考えは述べさせていただきましたが、委員が言われたように社会情勢も国の施策も大きく変わっておりますので、5つの基本目標の中で我々もDXや脱炭素といった要素は全施策で連携させながら推進していこうということで案を作っているところでございます。ですので、そちらの意見につきましては、それぞれの基本目標の中で市としても織り込めるところは織り込んでございますが、さらに良いものとしてご意見をいただいたものについて、可能なものは反映させたいと思っております。

このまま資料の説明に入りますが、資料の参考1について、これが総合計画の体系ということになります。私が今申し上げたのが、各施策を貫くような形で、DX、ゼロカーボン、SDGsといったような今の時流を捉えた動きを全施策共通で推進していこうととて、新しい要素も取り込んでいます。それを基に、今日から3回に渡りご審議いただくそれぞれの基本目標の中でそちらの部分も反映できるところをご審議いただき、反映させていただきたいと考えております。

今回の「基本計画」については、審議の対象ではございませんけれども、それは基本構想が決まってからの話ということで、我々もその認識でござります。将来都市像、基本目標までを含んだ基本構想部分を、基本計画の部分で反映できると考えています。

○委員

審議の進め方はよくわかりました。これから基本構想の中で意見があれば出させていただきます。

○会長

資料の参考1で示していただきました左側の当初の【現】施策から、【新】施策に移っていく必要があり、それが資料右側に示してある現在の状況を反映した内容であるということで、そこから各施策を作るにあたっての今回の基本構想案、別紙2に提示いただいている基本目標であるというご提示だと認識しております。またそれを逆に見まして、今回の基本目標案を見て、やはり参考1にある現在の考え方にこういう視点が入っていないというようなことがありましたら、その基本目標の議論の中で意見を出していただけたらと考えております。

それでは、他にご意見、ご質問等ございますでしょうか。

ないようでしたら、次に進みまして、議事の2番目「基本構想（案）について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局

～資料に基づき説明～

○会長

ありがとうございました。ただいま資料関係、本日審議いただく内容について説明をいただきました。

ここで、この審議会での共通認識を持っておきたいと思いますが、諮問されておりますのが、基本構想のうちの「5つの基本目標」の部分が中心となります。他の部分も十分にご意見を承りたいところでございますが、あくまでも参考程度になることを認識して議論を進めてまいりたいと思います。

ただいまご説明いただきました資料を参考としまして、基本目標の内容を検討していきたいと思います。基本目標については、どちらかという、具体的な内容ではなく、大きな方針としたものでございます。基本目標を読み込んでいきますと、もう少し強調したほうがいい部分や、今の時代はこんな視点を盛り込んだほうがいいのか、様々あるかと思います。それぞれのご専門の委員の皆様方から多くの意見を頂戴しながら審議を進めてまいりたいと考えております。意見に対する意見でも構いませんので、活発な議論を進めてまいりたいと思います。

それでは、基本目標について、審議を進めていきたいと思います。はじめに「Ⅰ生活・環境」について16時45分を目途に審議いただきます。資料2「基本構想（案）」の基本目標が記載されている4ページをお開きください。ご意見のある委員から、挙手でご発言をお願いします。

○委員

基本目標について、前提として前の基本目標を踏襲していますが、この体系を少し変えたら良いと思います。例えばDXの推進やSDGsは社会的に進めなければいけない問題となっているので、これを基本目標の横断的な目標として位置づけるのが一つ。あと、基本目標の記載する順番が大事だと思います。何がまちづくりで大事かという、経済の振興で景気を良くして市民が豊かになり、まちが健全になるというのが一番大事だと思うのです。なので、基本目標の1に「経済振興」を位置付けたらどうかと思います。2番目は、市民中心のまちづくりにならなければいけないので、安全・安心な暮らしやすいまちというのが2番目に大事なことだと思います。そして3番目は協創・共生です。誰もが参加できるまちが「協創」で、「共生」は自然との共生や市民同士の共生などありますが、これを3番目にして、そして持続的なまちを考えた場合、結婚・出産・子育て支援というところを4番目にすべきだと思います。そして最後、今の計画にもある「教育・文化」という形で、順番を変えんことを考えてやった方が、わかりやすいのではないかと思います。まちとして重点的に必要なことを位置付けるような体系にしたらどうかと考えていました。

○会長

今日は「基本目標Ⅰ生活・環境」というテーマで審議を進めるということなのですが、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、

Ⅳ、Ⅴとある基本目標自体を見直すということでしょうか。これは審議項目になるのでしょうか。

基本目標がⅠ生活・環境、Ⅱ健康・医療・福祉、Ⅲ教育・文化…とある項目ですが、それぞれの中でおっしゃられたデジタルの話や経済振興が盛り込まれてくれば、というお話でしょうか。

○委員

基本構想の中で基本目標も一つの項目なので、体系自体も検討しても良いのではないかと考えています。基本構想の見直しで、現行計画では3ページ～13ページにある基本構想について、ページごとに共有していかないと、後の方にある基本目標を先に決めてしまうと、どうしても焦点がぶれてくるのではないかと感じます。

○会長

基本構想全体を、というようなご意見ですが、先ほど委員全体で共通認識を持ったはずですが、今回諮問を受けている内容が基本構想の基本目標以降が中心的部分になりますので、ご意見いただいてそれを市の方に持ち帰っていただくということは可能なのでしょうか。

○事務局

今ほどのご質問に対してですが、基本的に「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」という将来都市像、あるいは基本目標のⅠ生活・環境～Ⅴ市民活動・行政活動までの建付けにつきましては、総合計画の庁内策定委員会の中で決定している事項というところで、今進めている状況であり、基本的に事務局としては決定事項として考えていますので、市民の皆様の代表である審議会の中での参考意見とさせていただくのがよろしいかと思います。

ただ、例えば基本目標の「Ⅰ生活・環境」がなぜ1番目なのかというところは、例えば防災ですとか、防犯、交通安全といった市民の命や財産を守ることが行政に課せられている一番の課題だという考えがあって設定されているところであり、何の理由もなしに設定しているものではありませんので、それだけはお承知おきいただきたいと思います。

○会長

ということは、基本目標の項目についてはこのままで進めて、その中に意見が出た内容を盛り込んでいく、加えていくということは答申に含める内容となるわけですね。

項目の検討については、ご意見いただきますが、それは参考意見として持ち帰っていただくという形までかと思いますが、目標の中身につきましては今の時代に合った表現、内容というものを盛り込んでいく必要があらうかと思います。そういった視点でご意見がございましたら頂戴したいと思います。

○委員

先程事務局からのご説明にも、時代に即した形ということで、DX化であるとかデジタル化を推進していきたいということを縦串で全体に貫いていきたいというお話がありましたが、基本目標Ⅰではざっとお読みした限りではそのことに触れられていなくて、Ⅳ産業などには入っているのですが、私は常々人々が暮らしている生活の中にこそデジタル化がもっと推進していかないととても住みにくいと思っています。具体的なことを言うと、地域で回覧板を配布するということも、地域としてサポ

ートできなくなっている状況があり、そういうところにこそデジタル化が進んで欲しいと思っています。今の話は具体案の一つですけれども、この基本目標のところにも何か市民の生活レベルのところでデジタル化の推進ができるような一言を加えていただけたらありがたいと思います。

○会長

ありがとうございます。確かに、ゼロカーボンやDXといったものがそれぞれの目標の中に読めるか、見えるかというところはあろうかと思います。それに関したご意見でも結構です。他にご意見ありましたらお願いいたします。

○委員

今のような意見はすごく大事だと思います。ただ、その前にページの追加項目や表示方法も色々問題があると思います。その辺を順番に審議してから今のような大事な意見をいただくとすごく良く、今まで以上に色々な考え方が出てきたりすると思います。追加項目は例えば、「計画の策定にあたって」にこういうものを入れてほしいとか、こういう項目をもプラスに入れたらどうかとかあると思うのです。その辺を議論してから今のような意見を審議なりするのが良いのではないかと思うのですが。

○会長

ありがとうございます。基本目標を見ますと●で4項目が提示されていますが、これに限らずここに他の項目を入れていくことは可能かと思うので、そういったご意見をいただければと思います。

○委員

基本構想の例えば進行管理や行政評価、時代の潮流などを共有することが、今のような意見をいただく前には大事ななと考えています。

○会長

ありがとうございます。今回この改定に至った背景などの話を、というところですね。そういった資料などは事務局で用意できますでしょうか。

○事務局

現行計画冊子の目次を見ていただきますと、「基本構想」のところに「第1節 計画の概要」、「第2節 新発田市のまちづくり」ということで基本構想が1節と2節で構成されているような書き方になっているのですが、今回諮問させていただいている基本構想につきましては、その中の4項目ということになっておりまして、前回4年前の審議会も、基本構想はこの形で審議いただいているのですが、最終的な冊子として完成させる際に基本構想で審議した以外の内容も基本構想の章立てに入っております。別紙2にある1～4が基本構想で、「計画の策定にあたって」や「計画期間」というものは、基本構想ではなくその前段の章立て、という構成になりますのでご承知おきいただければと思います。よろしくお願いたします。

○委員

それでは別紙2を基本構想とする、ということなので、もう少し何か議論をしてから別紙2の1～4までの考え方について意見を言うような形になりますか。

○会長

本日の審議のテーマが基本目標の項目のⅠになりますので、これを中心にご意見いただければと思います。

○委員

基本構想を先に進めてから、基本目標の方を議論した方が順番的に良いのではないかと思います。「まちづくりの理念」などを共有してから基本目標の方に入ったらどうかと思います。

○会長

この場でご意見としていただくのは良いとは思いますが、今回の諮問で答申する内容に反映されるのが「基本目標」の部分になりますので直接反映されることがないものになっております。ただ、基本目標を検討する上では全体についての意見や基本計画に示されているようなものの意見についてもこの場で頂ければと思います。

○委員

諮問が基本構想までと書かれているのですか。それとも「基本目標」と書いてあるのですか。「基本構想」が諮問であれば、全体を議論しても良いと思うのですが。

○会長

諮問で頂いているのは、「将来都市像を「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」として」というところから始まっておりますので、別紙2の1、2のところまでは固定という形で、意見としてはこちらから出していきたいと思うのですが、それを踏まえて3の基本目標について審議をするという形になります。

○委員

基本目標の審議でも良いですけど、先程の意見は「施策」の意見ではないでしょうか。諮問と少し違う視点ではないかと思うのですが。

○会長

基本構想の各基本目標で、今後のDX化などについては、DX化というのがデジタルありきで進めるものでもありませんが、色々な対策に対してデジタルも使いながら、デジタルの使用方法も考えながら、ということになろうかと思いますので、例えば「生活・環境」をいかに良くするか、その一つの方法としてデジタルが出てくるということ、読めるようにしておくのか、もしくは広くデジタルでもなんでも使えるような基本目標にしておくのか、ということがこの場でご審議いただく内容かと思います。確かに細かく、ネットを使った通信網を～、という内容はこの場にはそぐわない話だと思いますが、もう少し大きな方針ということで審議は進めてまいりたいと思います。ただ、細かい話を

しないと目標も立てられない、ということもありますので、ご意見としてはどんどん出していただけたらと思います。

○委員

先程、ウェルビーイングという言葉が出ていたかと思います。そこを確認したいと思っております。

実は「ウェルビーイング」というのは、「ウェルフェア」に代わる言葉として、WHOが2001年に初めて使った言葉なのです。どういう意味かと言うと、「ウェルフェア」というのは日本語で「福祉」で、これは対象が限定されています。社会的な弱者や不利を負う人々に対する福祉の提供が「社会福祉」、「ウェルフェア」と言います。WHOが違う言葉を使うようになったのが、2001年で、それが「ウェルビーイング」だったのですが、これは「満たされた生活」や「満足いく生活」という意味で、単語としては訳しにくいので日本語では「ウェルビーイング」とカタカナ表記でそのまま使う場合が多いと思います。これは、「ウェルフェア」とどう違うかと言うと、「ウェルフェア」は対象が限られているのに対し、「ウェルビーイング」は全ての人が満足いく、満たされた生活の実現ということなのです。これをWHOが出しましたので、世界の医療・福祉・教育・保健などがそれに応じた対応をしてきました。「新発田市まちづくり総合計画」は2020年から出されていますので、当然それは反映されていると思います。基本目標の「I生活・環境」は、これは概論的な表記になりますので、この中で具体的な文言が見られないのは当然かなという気はします。ですからそのような意味で、ウェルビーイングの増進という視点からこの基本目標I生活・環境を見た場合、●の1～4個目の中で、例えば1個目には「安心安全」という言葉があり、2個目には「質の充実」、3個目には「未来への継承」、4個目には「有効に活用」「安心安全」「充実を図る」というような文言があるかと思います。そのような部分に、「全ての人が享受する満たされた安心安全な生活」ということを言っている、と見てもおかしくはないかなと思います。私はこの概略的な表記がなされているI生活・環境は、そのような意味でふさわしいかなという気はしています。

○委員

今の意見と同じなのですが、日本一の便利なまちを目指すだけでなく、「日本一幸せのまち」の実現を目指すような内容を入れていただければと思います。今の説明をいただいてよく理解しました。

○会長

事務局に確認ですが、この場で文言を検討するということは必要ないという認識でよろしいでしょうか。

○事務局

ご意見として賜った内容を、また事務局の方で整理・検討させていただきながら、反映できるところを反映させていただくということで、今一言一句をここで決める必要はありません。

○委員

2点話しをさせていただきたいと思います。「生活」と入っていると、人口減少の状態、地域が高齢化していて地域の担い手がないというあたりをどうしようかというようなことが、市民目線で見て

いると大事なのかなと思っているのですが、それについては、「V市民活動・行政活動」のところに入っているのはわかっているのですが、イメージとしてはIに入っていた方が受け取りやすいのかなという気はしています。

もう一点は、「地域への愛着や誇りをもち」という文言が最初にありますが、4つの●の中にこの部分が少ないのかなと思います。新発田の歴史や文化、景観などとありますが、地域資源をまちづくりの様々な場面で有効に活かすことになっていますが、市民として地域への愛着や誇りをどのように持っていくのかというところを、表現としてあった方が最初の目標と、下の●が合致してくるのかなと思いました。

○委員

先程事務局からも話がありましたが、戦略も一体化するのですよね。これは、基本構想の中に入れるのですか。それとも基本計画として入れるのですか。

○事務局

総合計画・総合戦略の一体化というところですが、総合戦略の具体的な取組というものは、参考3の「基本計画」に反映されていくことになります。参考2で示しているデジタル田園都市国家構想のフレームというのは、国から地方へ落ちてきているものですが、それに向かって、新発田市は総合計画の中で取り組んでいくという姿勢は基本構想でも少なからず見せていくところでございますので、先程、委員の方から基本目標のIにはその視点が少なく、産業には結構あるようだという意見も頂戴しましたが、必ず載せなければいけないということにはなっていませんが、表現が足りないなどのご意見がありましたら頂戴したいと思います。

○委員

基本構想の「将来都市像実現のための4つの視点」というのは、それこそその内容に現代の考えを入れられるものだと思います。なので、これに代えて、総合戦略の詳しいものを入れたらどうかと感じました。

○事務局

そのような表現の仕方も参考にさせていただきながら、またご意見いただければと思います。ありがとうございます。

○会長

基本構想の基本目標にするのか、基本計画の施策にするのかというような線引きが大変難しいかと思います。ご意見としては、特に「これは基本目標だから」、「基本計画だから」ということなくご意見をいただければと思います。また、その振分けについては事務局の方でしていただければと思いますので、忌憚ないご意見を自由にいただければと思います。

○委員

先程の萩野委員からのご意見、私も同じように感じておりました。「地域への愛着や誇りをもち、安

心して住み続けられるまち」とありますが、まず、最初の項目が防災関連の内容でございまして、最初に「安心して住み続けられるまち」になっていると思います。特にこの4年間、昨年大変な水害があって、私も大変暮らしていて不安を感じております。市民の中にも不安を感じて暮らしている方がたくさんいるので、ぜひこの「安心して住み続けられるまち」を強調していただけたらどうかと思います。やはりそれがあって初めて新発田市に対して愛着・誇りが持てるのではないかと思いますので、そのあたりの順番というか、強調の仕方を少し見直していただけたらと感じております。

○会長

ありがとうございます。最近自然災害が全国で起こっているところは気になるところでございます。そういったところも、状況の変化というのに該当するのではないかと思いますので、検討いただければと思います。他にご意見等はございますでしょうか。

○委員

生活で、安心して住み続けられるかどうかというところで、私が今一番不安を感じているのが、高齢者の方が買い物などができないというライフラインが途絶えてしまうのではないかという危機感を抱いております。「IV産業」には「まちなかの賑わい」などが出てきますが、生活・環境として喫緊に市に考えていただきたいのが、年齢を重ねても安心してまちの真ん中で暮らし続けるにはどうしたらいいのか、日々の生活の維持をどうしていくのか、というところだと思います。それはこの4つの●に入っていないので、そこは今後、基本計画が策定される時に何かできるように言葉としてこの中に入れていただけるとありがたいなと思いました。

○会長

ありがとうございました。基本目標に盛込まなければいけないこと、また、これは外しても良いのではないかとようなことがございましたら、ご意見いただければと思いますがいかかでしょうか。

○委員

基本目標の「地域への愛着や誇りをもち、安心して住み続けられるまち」というサブタイトルですけども、下の4つの●を見ると、「安心して住み続けられるまち」というのはドンピシャなのでしょうけども、「地域への愛着や誇り」というような文が、以前と比べると薄くなったと感じます。これを使うのであれば、やはりもう少しこの要素も盛り込んでいただいた方が良いのかなと思います。

○会長

ありがとうございます。いかがでしょうか、「地域への愛着や誇りをもち」ということですが、これはやはり重要な文言、また重要な項目なのではないでしょうか。残すべきなのではないでしょうか、それとも変更ということも考えられるのでしょうか。またご意見ございましたらお願いいたします。

○委員

施策を見ると、「地域への愛着をもち」というのは非常に入れにくいのかなと思います。「生活・環境」だと、生活の方もあるが、「生活環境」と続けてしまうと、環境そのものの全体ということで、自分

たちが住むための道路だとか、交通だとか、災害に対する防災だとかは入れやすくなるのかなとは思っています。そこまで直せるのかはわかりませんが、意見としてそのように思いました。

○委員

地域への愛着というのは、すごく大事だと思います。というのは、地域への愛着で一番必要なのは、学校教育だと思います。地域の教育をもう少し質のある教育にしていくということです。学校教育をしないと、卒業してから外に出てしまうので、それを地元に留めるには、卒業する前の教育から、そのあたりを強く実施しておくことが、人口減少の一つの歯止めになるかなということを意見として付け加えておきます。

○会長

ありがとうございます。「環境」というところが薄いのではないか、ということですがご意見ございましたらお願いします。

○委員

意見というより質問ですが、基本的に5つの基本目標があるわけですが、このタイトルについては大きく変更するものではないということによろしいのですよね。例えば今「地域への愛着」という話が出てきていますが、このようなところも、これに沿った形で中身を議論するということによろしいでしょうか。

○事務局

ありがとうございます。ご質問の件ですが、サブタイトルも含めまして、ご審議いただいた中で頂戴した意見については、反映する余地は十分あるかと思います。各委員からご意見いただきました「安心安全」、これがまず行政としても市民の生命・財産を守ることが一番の仕事でございますし、近年の状況を見てもそれが最優先だろうということや、「地域の愛着・誇り」については教育・文化の基本目標の方が妥当なのではないかというような意見につきましては、最初に出たデジタルの話も含めまして、庁内で再度議論する余地がございますので、ありがたく頂戴したいと思います。

○委員

タイトルをイメージすると、どうしても今色々な意見が出てくるのかなという気がしていて、特に「生活・環境」というのは範囲が広く捉えられると思います。ですので、他の基本目標のところにも大きく含めると「生活・環境」は入ってくるのかなという気がするので、タイトルによって絞り込むということが変わってくるのかなと思います。「地域の愛着・誇り」という話が出ていますが、これがあるとどうしても計画に盛込むことは「ここはどうしてもおさえてもらいたい」というような話が当然出てくると思います。皆様から色々な意見が出ていますが、どのように絞るかとか、そもそもタイトルから全て変えるかどうかみたいな話だと、この場で議論していくことは簡単ではないのかなと思っていますので、もう少し絞り込んだ形で議論できるようにしていかないといけないのかなと思います。今聞いていますと、もう少し我々も事前に中身を理解しておかないと、もう少し突っ込んだ議論ができないのかなと思いました。

○会長

ありがとうございます。

新発田に来て思ったことが、「環境の良さ」であります。冬の雪には参りましたが、そこを除けば、空気が非常にきれいだし、また水道の水も、食べ物も美味しい。生活する上で非常に環境が良いです。長く住んでいればそれが当たり前になっているかも知れませんが、よそから来た人にとって、「環境」というのは新発田で非常に大事なものではないかという気はしています。基本目標の中で「環境」に関する言葉が少ないとありますが、施策の中ではやはり環境に関すること、最近話題になっている「グリーン社会」や、「脱炭素」など出てくると思いますが、そういうものが見えるようになって良いのではないかという気はしています。

○委員

新発田で生活していて良いと感じるのは、コンパクトシティになっているという感覚を受けました。私の自宅がある上越は、面積がとにかく広くて、住民が離れて暮らしているような感覚がありまして、新発田のまちなかを見ていると濃縮されているように感じて、良いまちだなと思っております。ですから、やはり行政としても、そういったスケールメリットを考えた対応を取り入れても良いのではないかなと思っているところです。

○委員

私も各都道府県16回転勤しているのですが、新発田の良い点は地域環境だと思います。人と人との結びつきで、これはすごく大事で、地域環境が良いというのは、先程意見を出したウェルビーイングの一つのもとになると思います。なので、そのあたりを踏まえたことをしていただければと思います。

○会長

ありがとうございます。何か他にお気づきの点があれば、ご発言いただければと思いますがいかがでしょうか。

○委員

「安全安心」という言葉は、私的には当たり前の話だと思っております。私は福祉の分野を専門にしているものですから、例えば「安全安心に暮らす」という言い方はどこにでも出てくるもので、時代はもうそこじゃないと言われております。そこで出てくるのは、今ほど出てきた「ウェルビーイング」という言葉です。あまりなじみのない言葉ですが、あまり難しく考えずに、安全安心だけでも、そこに住んでいて満足する、幸福的な気持ちになれるという一歩踏み込んだことです。ですから、できれば新発田はそういったまちになるという基本目標にして欲しいと思います。安全安心は当然の話でどこのまちもそうなので、もう一歩、安全安心の先にあるのが「ウェルビーイング」だというぐらい強調したことを言っても良いのではないかと思います。特にこの生活などの部分では、そういったことを新発田は目標にしていく、という強い意思表示があっても良いのではないかと思います。

○委員

今、人生100年時代や多様化社会と言われますが、そういった中で市民が寿命を全うする直前まで、健康で幸せに暮らせる「ウェルビーイング」のまちを目指すようなことを方向性の中に入れてもらえれば良いと思います。

○会長

ありがとうございます。色々ご意見いただく中で、その内容をどの基本目標に入れていくかということもあろうかと思いますので、そのあたりも事務局の方で整理はしていただければと思います。ですから、この基本目標というように固定して考えずに、メインテーマの基本目標をご覧いただいて意見がございましたらいただければと思います。ご意見の内容につきましては、事務局の方で整理していただきたいと思います。

○委員

新発田市の中心部は大変コンパクトで便利なところでございますが、周辺もすべて新発田市でありまして、金塚、旧加治川村、紫雲寺町、豊浦町といったところも含めて新発田市となっています。真ん中が良ければ周りも良くなるのかもしれませんが、もう少し周りの地域に配慮した取り組みとしていただきたいと思います。私のところも過疎地域となって、交通手段としてバスを出してくれるということになりましたが、我々の要望としては、新発田市内で買い物に行くよりも胎内市に買い物に行きたいということがあります。胎内市では「のれんす号」という車を出しておりまして、500円、ワンコインで金塚地区の人が胎内市に買い物に行くことができるという制度があります。そういった周りの地域も含めて、安心して公共交通がもっと便利になっていただくと大変嬉しいかなと思います。

○会長

ありがとうございます。色々な視点でご意見いただければと思います。

○事務局

ご意見様々いただいておりますが、事務局として大変ありがたく思っております。委員が言われたように、一つの要素が一つの基本目標にきちんとはまるわけではなく、他の基本目標にも関わってくる部分も多いかと思います。そちらについては、主に関係する基本目標のところに文章としては掲載する形でバランスをとっていきたいと思います。最終的には基本構想のゴールにあたる将来都市像の中で、ウェルビーイングの考え方も含めて、市長も同じことを考えて将来都市像を設定しているかと思います。基本目標を複数、もしくは全部の基本目標にまたがるようなものについては、将来都市像の説明文章の中で盛込むなど、検討させていただきたいと思います。

○副会長

委員の皆様から貴重なご意見をいただいておりますが、基本目標のⅠ～Ⅴとあると、それぞれの基本目標にタイトルがあって、その次に色々な課題が出てくるのですが、今の意見を全て頂戴していると、網羅的になってしまっていて、ぼやけてしまうところもあるかと思います。資料を見ても、「愛着」や「地域の交通」、「買い物」などは記載している場所は違えども、文言としては載っていると思

います。6つも7つも記載するわけにはいきませんから、趣旨をしっかりとおさえて、今日のご意見を常に頭に描きながら、基本計画の具体的な施策のところにそういった文言が改めて出てきているか吟味した方が良いと思います。今全部変えていくとなると大変な作業になってしまいますので、基本的には提案されたタイトルで進めていき、今日のご意見をどう反映していくかなど、全部を通して進めていかないと、一つだけ突っ込んでいくと色々と問題が出てくるなという感想を持ちました。

○委員

今の話と関連しますが、基本目標のⅠ～Ⅴという形になっていると、どうしてもその分野だけになってしまうと思います。これからのまちづくりで大事なものは、分野横断的な形でまちを発展させるということがすごく必要なことになってくるので、そのあたりを考慮していただければと思います。

○会長

他に何かご意見等ございますでしょうか。気づかれた点でも結構ですし、広く捉えた全体的な話でも結構です。将来都市像の項目の中の表現などについてのご意見でも良いということでしたので、答申には入らないと思いますが、ご意見としてこの場で議論していただければ、計画全体が作られた際には反映されたものができてくるのではないかと思います。

○委員

先程から何度か「ウェルビーイング」という言葉が出てきていますが、最近多いのが、漢字で「福利」という言葉を使って括弧を使ってウェルビーイングという表記がかなり出てくるようになりました。中国語では福祉は「福利」と書きます。中国語から借りてきた表現を、福祉とは違うという意味で、「福利」という全人的な幸せな、満たされた状態の提供という意味にあてているものでございます。

○委員

参考までにですが、ウェルビーイングとまちづくりの関係についてですが、デジタル田園都市国家構想の各施策がウェルビーイングに結びついているのです。それが、指標の一つになっています。それと、日本の成長戦略の方針の中でウェルビーイングを位置付けているわけです。これがK P I 指標の検証なのです。そのあたりの、まちづくりにおいてウェルビーイングがいかに大事かということをお互いに理解できればと思います。

○会長

ありがとうございます。新しい言葉というわけでもないですが、中々普段の生活の中で使う言葉ではありませんので、その解釈というのもわかりやすく表示できればと思います。それを盛込むかどうかは、またご検討いただければと思います。具体的になりすぎるのか、また広くなりすぎるのかというところもあろうかと思います。先程も申し上げましたが、基本目標にするのか、基本計画段階で施策に入れるのかというところは事務局での振り分けをお願いしたいと思います。

○委員

基本的なことです。そもそも市長が言っている「住みよいまち日本一」という大きな目標が一番上にあって、その下に細かな基本目標があって、実際にまた基本計画が施策として出てくるわけですが、例えば基本目標にある項目を見たときに、この基本目標を達成したときに「住みよいまち日本一」になるというイメージが出てこない、どこの市町村でもあるようなレベルではだめだと思います。文言的には強くても「これを達成する」という目標でないと、市民の皆さんも日本の中で一番新発田が良いと実感できるものでないと、目標そのものは意味をなさないと思います。内容は概ね良いと思いますが、ただ表現するときにはもう一歩進んだ表現をする必要があると思います。基本目標は、『住みよいまち日本一』になるためにみんなでやるのはこういうこと』ということですから、そこだけではできれば妥協せずに、現場の皆さんも大変だと思いますが、もう少し市長とやり取りしていただいて、「新発田はほんとに住んで良いまちだ」と皆さんが実感できるものにしていくことが必要だと思います。今日の議論は、その部分だと思いますので、抽象的な話ですが、ぜひそこはもう少し強いものにしていただければ良いのかなと思いました。

○委員

今の意見に大賛成です。私が今考えていたのは、市民を中心に考えて、「誰もが自分らしく輝けるまち・しばた」です。先程も話しましたが、寿命を全うするまで幸せでいる、というような視点を、まちなどではなく、人に当てた視点で「誰もが自分らしく輝けるまち・しばた」とするだけでも、「住みよいまち日本一」よりも外部から人が集まってくるかなと感じたわけです。

○会長

ありがとうございます。人に視点を当てるか、それを支える環境に視点を当てるかという難しい問題で、両方のバランスだと思いますが、そういったところもこの場で意見として出るのは良いと思います。他にご意見等ございますでしょうか。

○委員

少し付け加えておきますが、ウェルビーイングというのは、新聞等によく出てくる考え方として、参考４の市長の考えに加えて、個人の幸せや充実感というのを合わせてウェルビーイングの意味になっています。

○会長

ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。今日お集まりしていただいた皆さんからご意見は頂戴したところでございます。まだ一言いいそびれていることなどありましたら、ご発言いただければと思います。質問等でも結構です。

○委員

基本構想について、まとめたものを素案か何かで今日の意見を含めて、作っていただいてそれを議論するわけにはいかないでしょうか。例えば「まちづくりの理念」でも、理念について、付け加えた方がよいことなど、基本構想の流れについて、もし時間があるなら素案を作っていただいて、それについて議論できれば答申にプラスになるのではないかと思います。

○会長

ありがとうございます。今回の諮問の範囲というのは決められているわけですが、全体の見直しという機会や、今後のタイミングなどはあるのでしょうか。

○事務局

今ほどの件につきまして、基本目標5つについて全3回の会議で審議していく中で、将来都市像の説明文の見直しなども踏まえて整理が必要になってくるかと思います。頂戴した意見をそれぞれのセクションの担当者とも協議・検討して、実際に取組として活かせる部分を整理する必要があります。そして、最終的には12月の市議会までに整理をしなければならないことを考えると、現実的には、一回ごとに頂いた意見を文章としてお示しし、再度の議論で煮詰めていくというのは難しいと思います。頂戴した意見については、事務局で整理させていただくこととして進めさせていただければありがたいと思います。

○委員

私が言ったのは、基本目標ではなく、基本構想の素案です。このような計画の見直しの場合は、基本構想の案が行政から出て、それに対して議論をして付け加えるなどするとスムーズに進みます。基本目標だけまとめて出すのではなく、基本構想全体の素案を出していただければありがたいと思います。バラバラに言っていると、こちらから言うのと、事務局の受取り方で違う場合もあるので、ぜひ素案を次の会議に出していただきたいと思います。

○会長

そのあたりのスケジュールなどはいかがでしょうか。また、次回テーマが変わってくるということもありますので、最初の説明頂いたスケジュールの中では厳しいのではないかと思いますがいかがでしょうか。

○事務局

2回目についてはまた次の基本目標Ⅱ、Ⅲの審議が控えておりますので、次の審議会の9月5日までは整理する時間が不足するというのが実情です。

○委員

最初に言いましたが、審議会の所掌事務というのは、基本構想について市長に答申することです。それをまた行政の方でまとめて、最後はパブリックコメントで市民の意見を聞いて完成するという形で、審議会としてはやはり大事な基本構想全体についての素案を出した審議はぜひ必要だと思います。少し間違った捉え方などあると、素案があれば全員共有して進められると思うので、少し大変かもしれませんが、無理してでもそれをやってもらえればと思います。

○事務局

素案というのは今回お出しした素案ではなく、意見が反映された素案ということでよろしいでしょ

うか。

○委員

例えば、理念についても色々と意見があると思います。そのあたりを次回、時間がないとか言うのではなく、対応して審議を進めていただければと思います。もっと言うなら、計画の見直しなら「進行管理と行政評価」や、「時代の潮流」なども議論して、それを流れの中に入れて基本構想として答申をしたほうが良いのではないかと思います。

○会長

ありがとうございます。委員おっしゃられることもわかりますが、ただ、今回諮問内容が、この「将来都市像」以降の内容になりますので、答申としてはこの「基本目標」に関するものになってくると思います。全体の見直しということで諮問を受けているのでしたら、やはり理念から見直すということになるかと思うのですが、ただそれを全く見ないでということではなくて、ご意見としてはいただいて、一部修正などしていただくということになるかと思います。

○事務局

会長の発言に事務局から補足させていただきますが、別紙の2が基本構想の素案でございます。2ページが「まちづくりの理念」、3ページが「将来都市像」、4ページ以降が今日委員の皆様にご議論いただいている内容になるということですが、将来都市像や基本目標の名称あるいは順番といったものは、庁内の策定委員会で決定して諮問させていただいております。「まちづくりの理念」の部分もある程度設定した中で、将来都市像を決めて、基本目標を決めて、というところでございます。ただし、委員がおっしゃられたとおり、そこについても新しい要素、時代の流れに応じた新しい考え方を取り入れるべきだというお考えももっともですので、例えば、2ページの「自立」「個性」「経営」「協働」「共生」という言葉は、そのまま使うとしても、その先の●の各説明にもう少し新しい要素を加えることなどは可能だと思いますので、そのあたりはご意見として広く頂戴したいと思います。同様に、3ページの将来都市像につきましても、「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」は、市長の「まちづくり実行プラン Ver. 4」の言葉そのものでございますので、ここはそのまましていきたいと思いますが、その下の「住みよいまち」とは、そこに住む人々が地域や社会とのつながりによって、心の潤いや安らぎ、幸福感を感じられる～」、まさにウェルビーイングの考え方を書いていると思いますが、このあたりをウェルビーイングの観点に立って、変えたり、補足したりといったことは可能かと思しますので、基本目標を皆様にご議論いただく中で合わせてご検討いただくことは可能だと思っております。

○委員

「まちづくりの理念」について、少しだけ話させていただいてもよろしいですか。まちづくりの理念は、まちづくりの考え方、それからまちづくりの姿勢を示すものです。「理念」という言葉を「基本理念」にしたら良いと思います。それから、今までの色々な「理念」を見ているのですが、理念の説明が細かすぎるのではないかと思います。総合計画の基本構想としてだと、せいぜい1行か2行で書くようにするのがテクニックかと思います。理念というのは現在のような形でなくて、もっと簡潔に

して、細かいところは基本目標や施策の中に入れれば良いのではないかと思います。

○事務局

色々のご意見ありがとうございます。結果的にはスケジュールのとおりに進めさせていただきたいと思います。また、多くのご意見をいただきましたが、それぞれに必要なものがあれば、諮問の中にはありませんが、まちづくりの理念や将来都市像の説明文などの修正については事務局の方で検討させていただきたいと思います。また、今ほど委員から意見がありましたが、まちづくりの理念については依然と比べて随分簡潔明瞭にさせていただいています。そういう意味では、例年進化しているのかなと思っておりませんが、またそういったご意見もいただきましたので、参考にして検討させていただきますが、基本的にはスケジュールのとおり、諮問のとおりに各基本目標をご議論いただいた中で、必要に応じて前段の理念や将来都市像の部分や後段の4つの視点、もしくは今後策定を行う基本計画の各施策部分において、事務局の方で検討させていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○会長

わかりました。スケジュールのとおりということでございますのでよろしくお願いいたします。また、他にご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ご意見も尽きたようでございます。「I 生活・環境」についての審議をこれで終了したいと思います。本審議会開催期間中に、追加でご意見がある場合は事務局までご連絡をお願いしたいと思います。

以上で終了となりますが、全体を通して委員の皆様からご質問等ありましたらここでお受けしたいと思います。よろしいでしょうか。

○委員

全体的な意見なのですが、項目の中に「計画の性格と位置づけ」を入れて計画の立場をはっきりさせた方がよいと思います。例えば、「新発田市まちづくり総合計画条例に基づく計画です」ということや「新発田市の最上位計画としての位置づけです」というような「計画の性格と位置づけ」という項目を入れたらどうかと思います。

○事務局

全体の構成ということで、ご意見ありがとうございます。今基本構想と別に前段の計画の位置づけや進行管理のところも改定作業を進めております。今いただいた意見について、まさに今回の策定作業の中で盛込んで素案の準備を進めているところでございますので、途中経過のご報告とさせていただきたいと思います。

○委員

進行管理と行政評価について、これを「計画の推進」という形でわかりやすく示して欲しいです。例えば、「推進体制の整備」や、「市民、事業者、各種団体等との連携強化」や「県や公益法人、周辺自治体との情報交換」、「計画の進行管理に基づくまちづくりに関する調査研究」など、進行管理と行政評価を「計画の推進」という項目に入れられた方が、わかりやすいかなと思います。

それから、「計画策定にあたって」という項目に、今回はデジタル改革や脱炭素社会、SDGs、DXの振興というようなものを項目として入れておいた方が良いと感じておりますので、意見として言わせていただきました。

○会長

ありがとうございました。参考意見として取り扱わせていただきます。他に何か追加でご意見等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

以上で、審議を終了します。進行を事務局へお返しします。

(6) 閉会

○事務局

それでは、事務局から連絡事項がありますので、お知らせします。次回の審議会の日程については、9月5日（火）午後2時より、この会場で行います。参考資料につきましても今回同様に事前配布を予定しておりますので、お手元に届きましたら事前にご確認ください。

以上をもちまして、第1回新発田市まちづくり総合計画審議会を終了させていただきます。